

## 速効対策について

■大和西大寺駅周辺の主要な渋滞踏切道

■渋滞発生要因の整理

■考えられる速効対策(案)

## 速効対策の方向性にかかる論点

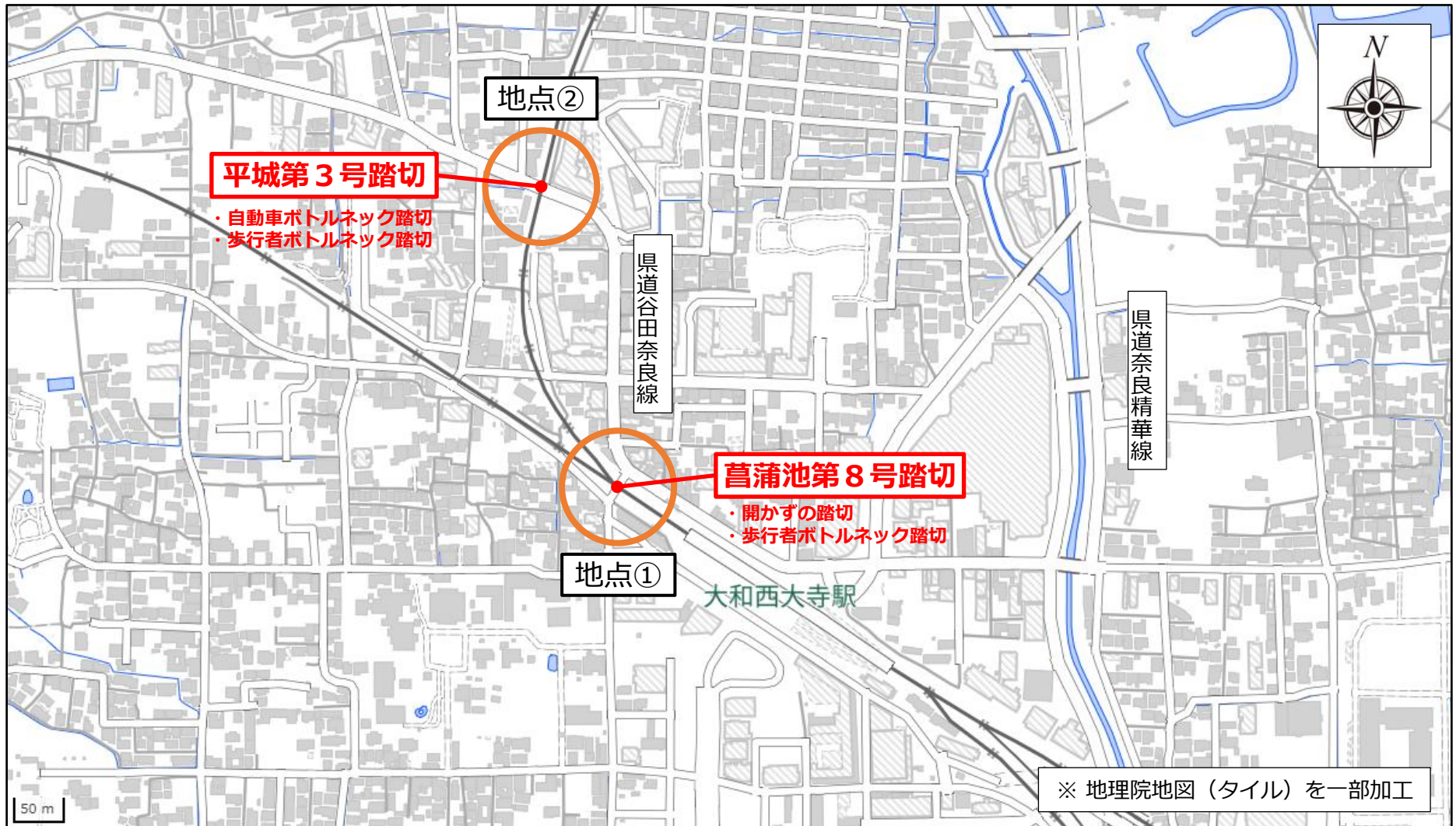
- ・ 速効対策の範囲（駅周辺、周辺道路、広域ネットワーク等）
- ・ 時間軸（即時対応、中期対応等）
- ・ 実現可能性（コスト、工期、地元理解、技術的制約等）
- ・ 将来計画との整合性（都市計画等）

## 速効対策案の検討について

県道、市道などの道路管理区分にかかわらず、自由闊達にそれぞれが速効対策案を提示し、上記の論点をもとに議論・整理する。

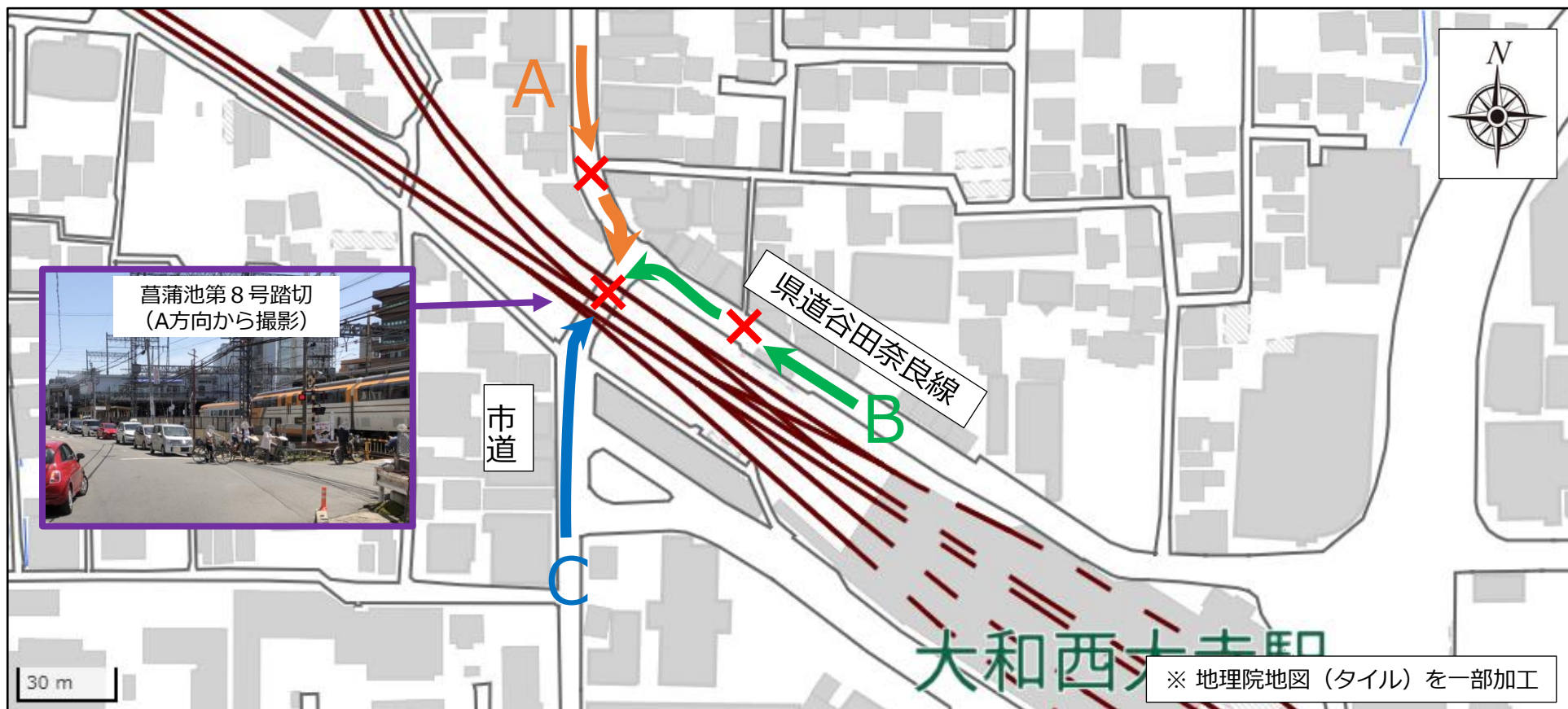
# 大和西大寺駅周辺の主要な渋滞踏切道

- 大和西大寺駅周辺の**渋滞が顕著な踏切道 2 地点**を検討箇所として抽出
- まずは2地点における**渋滞発生要因の整理及び解消に向けた検討**を行う



# 【地点①】渋滞発生要因の整理

渋滞発生箇所	渋滞発生要因
県道東向き車線 (A)	県道東向き車線に右折車が滞留し、直進車の進行を阻害
県道西向き車線 (B)	県道西向き車線に左折車が滞留し、直進車の進行を阻害
市道北向き車線 (C)	遮断踏切及び県道通行車両に進行を阻害され滞留



# 【地点①】渋滞発生要因の整理

## 1. 渋滞発生要因について

- ・ 菖蒲池第8号踏切の踏切遮断時間は1時間あたり最大51分（令和3年公表値）となっており、通行する車両や歩行者等に大きな影響を及ぼしている  
（国から踏切道改良促進法に基づき、「開かずの踏切」及び「歩行者ボトルネック踏切」として改良すべき踏切道に指定されている）
- ・ 交差点部において多数の車両が集中・錯綜することにより、交差点へ流入する各道路において車両の滞留が発生している
- ・ 右左折車両の滞留により直進車両の進行が阻害され、結果として滞留長がさらに増大している

## 2. 速効対策の検討に向けた考察

- ・ 交差点部における通行車両の集中及び錯綜が、本箇所における渋滞発生の主要な要因の一つと考えられる
- ・ このため、交差点部における通行車両の錯綜を抑制する観点から、交差点改良や交差点交通の円滑化に資する交通環境の改善などの手法について検討を行う



# 【地点①】考えられる速効対策（案）

箇所	問題点	速効対策（案）	課題
A	県道東向き車線に右折車が滞留し、直進車の進行を阻害	交差点改良 （右折レーン整備 等）	用地確保 関連事業との整合 等
		交差点交通の環境改善 （交通流の整理・制限 等）	住民理解 交通環境の変化に伴う周辺交通への対応 等
	対向車線の直進車及び左折車並びに市道の右折車と交差点部で錯綜し、県道東向き車線に右折車が滞留	交差点交通の環境改善 （交通流の整理・制限 等）	住民理解 交通環境の変化に伴う周辺交通への対応 等
B	県道西向き車線に左折車が滞留し、直進車の進行を阻害	交差点交通の環境改善 （交通流の整理・制限 等）	住民理解 交通環境の変化に伴う周辺交通への対応 等
		交差点改良 （左折レーン整備 等）	用地確保 関連事業との整合 等
C	県道東向きの直進車及び右折車並びに西向きの直進車と交差点部で錯綜し、市道北向き車線に車が滞留	交差点交通の環境改善 （交通流の整理・制限 等）	住民理解 交通環境の変化に伴う周辺交通への対応 等
	踏切通過後の交差点部で車が1台しか待機できないため、市道北向き車線の踏切手前で車が滞留	- （踏切除却等の抜本対策が必要）	-
全般	踏切北側交差点部で多数の通行車両が錯綜することに起因して、駅周辺において渋滞が発生	交差点を含む駅周辺における交通流の整理・制限	住民理解 交通環境の変化に伴う周辺交通への対応 等

※本検討は、現時点で特定の道路改良や交通環境改善の実施を前提とするものではなく、交通実態を踏まえた交差点部における運用面の対応可能性を整理するものである

## 【地点②】渋滞発生要因の整理

渋滞発生箇所	渋滞発生要因
県道東向き車線 (A)	遮断踏切に進行を阻害され滞留
県道西向き車線 (B)	遮断踏切に進行を阻害され滞留



# 【地点②】渋滞発生要因の整理

## 1. 渋滞発生要因について

- ・ 平城第3号踏切は自動車及び歩行者交通量が多い県道に位置しており、通行する車両や歩行者等へ大きな影響を及ぼしている  
(国から踏切道改良促進法に基づき、「自動車ボトルネック踏切」及び「歩行者ボトルネック踏切」として改良すべき踏切道に指定されている)
- ・ 踏切の遮断により、県道を通行する車両の進行が阻害され、車両の滞留が発生している

## 2. 速効対策の検討に向けた考察

- ・ 本箇所は一本道の道路構造であり、近隣に有効的な迂回路が存在しないことから、交通流の整理や交通制限等による対策については、その効果が限定的となる可能性がある
- ・ 渋滞の解消にあたっては、踏切除却等の抜本的な対策について検討する必要がある